

マイオリンピック

2016/5/1

召天者記念礼拝

ヘブライ人への手紙12章1～2節

こういうわけで、わたしたちもまた、このようにおびただしい証人の群れに囲まれている以上、すべての重荷や絡みつく罪をかなぐり捨てて、自分に定められている競走を忍耐強く走り抜こうではありませんか、信仰の創始者また完成者であるイエスを見つめながら。

証人に囲まれている

- ▶ 「証人」とは「信仰によって」生きた人たち
 - 前章に、旧約聖書の信仰者たちが記されている
 - この教会の召天者たちも「証人」である
- ▶ 私たちは彼らからバトンを受け継いでいる
 - 「この人たちはすべて、その信仰のゆえに神に認められながらも、約束されたものを手に入れませんでした。」11:39
- ▶ 彼らに囲まれている
 - 天に帰った彼らは私たちが信仰のバトンを受け継いでいるかどうか見ている
 - 直接何もしないが私たちを見守っている

じゃまな物は捨てなければならない

- ▶ 「重荷」とは“よけいな物”＝＜弱さ＞
 - スポーツをする時はいっさいよけいな物は身に着けない。むしろできるだけ軽く、動きやすくする
- ▶ 私たちの人生にとって“よけいな物”とは
 - 優柔不断・高ぶり・短気・思慮浅い・臆病・・・
- ▶ 「罪」は絡みついてくる
 - 「不義、悪、むさぼり、悪意、ねたみ、殺意、不和、欺き、邪念、陰口・・・」ローマ1:29
- ▶ 「かなぐり捨て」なければならない
 - 決意をもって捨て去る
 - 何度でもあきらめることなく挑戦する

マイオリンピックがある

▶ それぞれに「自分に定められた競走」がある

- 私たちはみな違った人生の競走を走っている
- 誰一人同じ競走はない＞人と比べない!
- 神様はそれぞれに競走を与えておられる

▶ 「忍耐強く走りぬこうではありませんか」

- 最後まで走り抜かなければ意味がない
- そのために必要なのは「忍耐」である
 - 「あなたがたは、これを鍛錬として忍耐しなさい。神は、あなたがたを子として取り扱っておられます。いったい、父から鍛えられない子があるでしょうか。」12:7

私たちには最高の見本がある

- ▶ 「信仰の創始者また完成者であるイエスを見つめながら」
 - 「このイエスは、御自身の前にある喜びを捨て、**恥をもちとわないで十字架の死を耐え忍び**、神の玉座の右にお座りになったのです。」12:1
- ▶ 私たちの罪を贖うため、十字架の死をも耐え忍ばれた
 - これ以上の愛、これ以上の忍耐はない
- ▶ イエス様こそ私たちの最高の見本である！
 - この方を見習えば私たちの人生に失敗はないし、むしろ後悔のない最高の人生を送れる

ヘブライ人への手紙12章1～2節

こういうわけで、わたしたちもまた、このようにおびただしい証人の群れに囲まれている以上、すべての重荷や絡みつく罪をかなぐり捨てて、自分に定められている競走を忍耐強く走り抜こうではありませんか、信仰の創始者また完成者であるイエスを見つめながら。